

ActiveXコントロールの設定変更方法

ActiveXコントロールの設定変更手順を示します。設定変更手順は、Excelのバージョンによって異なります。以下の手順は、Excel 2010、2013となりますので、それ以外のバージョンの設定変更手順については、マイクロソフト社のホームページをご参照願います。Excel 2003、Excel 2000は、設定変更は不要です。

なお、マクロ・ActiveXコントロールの設定を正しく実施すると、『振込依頼書作成ツール』起動時に以下のような警告メッセージが表示される場合があります。

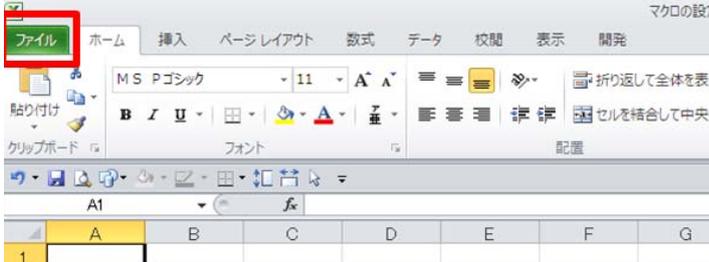
セキュリティの警告 一部のアクティブコンテンツが無効にされました。クリックすると詳細が表示されます。 コンテンツの有効化

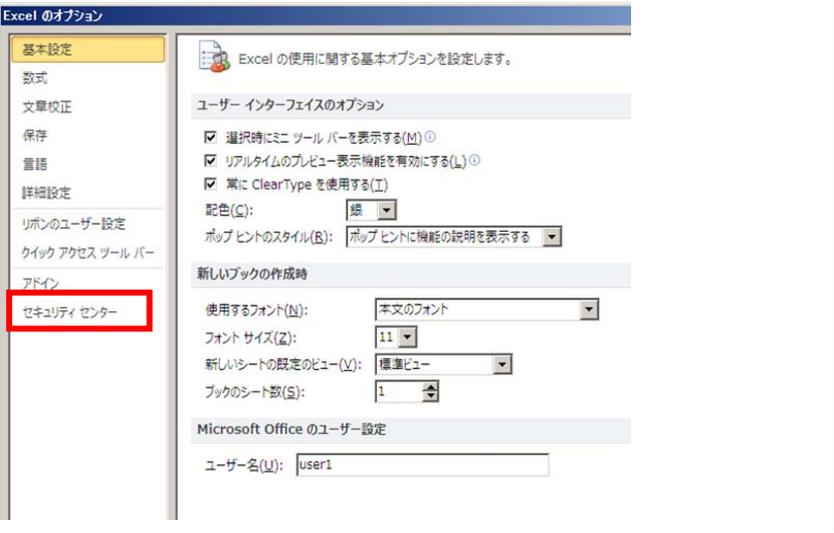
また、インターネット上からダウンロードして『振込依頼書作成ツール』を取得した場合も以下のような警告メッセージが表示される場合があります。

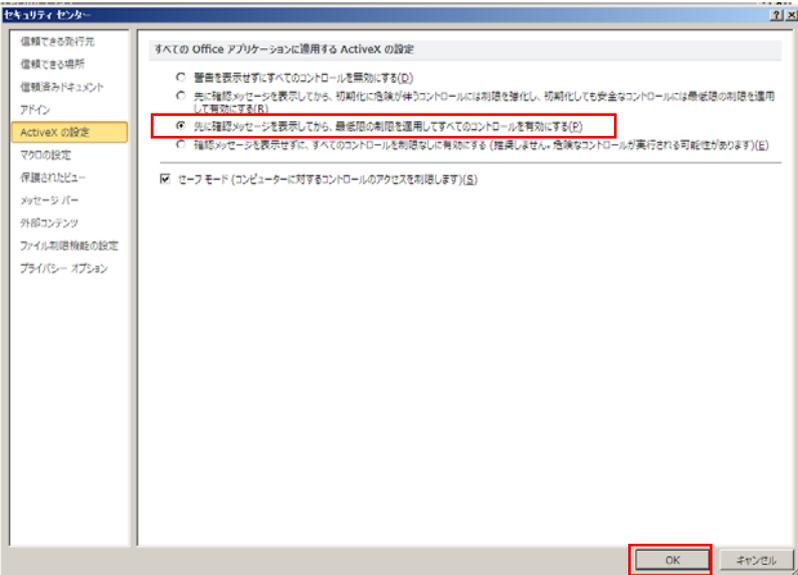
保護されたビュー このファイルは、インターネット上の場所から取得されており、安全でない可能性があります。クリックすると詳細が表示されます。 編集を有効にする(E)

警告メッセージはExcelのバージョンによって表示内容や表示箇所(画面上部・画面下部・ポップアップメッセージ)が異なります。いずれの場合も、警告が表示された状態では機能が無効化されておりますので、有効にする操作を実施してから『振込依頼書作成ツール』を使用してください。

(1) 設定変更手順 (Excel 2010、2013の場合)

項番	手順	画面
1	Excelを起動する	
2	「ファイル」を選択する	
3	「オプション」を選択する	

項番	手順	画面
4	「セキュリティセンター」を選択する	 <p>Excel のオプション</p> <p>基本設定</p> <p>Excel の使用に関する基本オプションを設定します。</p> <p>ユーザー インターフェイスのオプション</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 選択時にミニ ツール バーを表示する(M) ① <input checked="" type="checkbox"/> リアルタイムのプレビュー表示機能を有効にする(L) ① <input checked="" type="checkbox"/> 常に ClearType を使用する(I) <p>配色(C): <input type="text" value="黒"/></p> <p>ポップ ヒントのスタイル(B): <input type="text" value="ポップ ヒントに機能の説明を表示する"/></p> <p>新しいブックの作成時</p> <p>使用するフォント(F): <input type="text" value="本文のフォント"/></p> <p>フォント サイズ(Z): <input type="text" value="11"/></p> <p>新しいシートの既定のビュー(V): <input type="text" value="標準ビュー"/></p> <p>ブックのシート数(S): <input type="text" value="1"/></p> <p>Microsoft Office のユーザー設定</p> <p>ユーザー名(U): <input type="text" value="user1"/></p>
5	「セキュリティセンターの設定」ボタンを押下する	 <p>Excel のオプション</p> <p>ドキュメントを安全に守り、コンピューターを正常で安全な状態に保ちます。</p> <p>プライバシーの保護</p> <p>Microsoft ではプライバシーの保護に配慮しています。Microsoft Excel におけるプライバシーの保護については、プライバシーに関する声明を参照してください。</p> <p>Microsoft Excel のプライバシーに関する声明を表示する</p> <p>Office.com のプライバシーに関する声明</p> <p>カスタマー エクスペリエンス向上プログラム</p> <p>セキュリティと詳細情報</p> <p>プライバシー保護とセキュリティに関する Office.com からの詳細情報を表示します。</p> <p>Microsoft Windows セキュリティ センター</p> <p>信頼できるコンピューティング</p> <p>Microsoft Excel セキュリティ センター</p> <p>セキュリティ センターではセキュリティとプライバシーに関する設定を行います。この設定により、コンピューターを保護することができます。この設定は変更しないことをお勧めします。</p> <p><input data-bbox="1197 1153 1364 1198" type="button" value="セキュリティ センターの設定(I)..."/></p>
6	「ActiveX の設定」を選択する	 <p>セキュリティ センター</p> <p>信頼できる実行元</p> <p>信頼できる場所</p> <p>信頼済みドキュメント</p> <p>アドイン</p> <p><input checked="" type="radio"/> ActiveX の設定</p> <p>マクロの設定</p> <p>保護されたビュー</p> <p>メッセージ バー</p> <p>外部コンテンツ</p> <p>ファイル制御機能の設定</p> <p>プライバシー オプション</p> <p>すべての Office アプリケーションに適用するメッセージ バーの設定</p> <p>メッセージ バーの表示</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> ActiveX コントロールやマクロなどのアクティブ コンテンツがブロックされた場合、すべてのアプリケーションにメッセージ バーを表示する(S) <input type="radio"/> ブロックされた内容に関する情報を表示しない(N)

項番	手順	画面
7	「先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする」を選択し、「OK」ボタンを押下する	
8	Excel を閉じる	開いている全ての Excel ファイルを閉じる ※全ての Excel ファイルを閉じることで変更した設定内容が有効になります

上記完了後、続けて「マクロセキュリティレベルの設定変更方法」を実施し（すでに実施済みの場合は不要です）、『振込依頼書作成ツール』を起動してください。

(2) Excel 2007 の場合

以下を参照し、「先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする」に変更してください。

<http://office.microsoft.com/ja-jp/products/HA010031067.aspx#BM12>

⇒ 「Excel の場合」に記載

(3) Excel 2003 の場合

設定変更不要です。

(4) Excel 2000 の場合

設定変更不要です。

※Microsoft Excel は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

以上